

ツキノワグマと出あわないために

● 出没情報に注意!

山に入る時は、クマの出没情報に気を付け、危ない場所には近づかないのが一番です。

● 音で知らせよう!

山に入る時は、鈴をつけたり、ラジオをつけるなど、とにかく音を出して、クマにこちらの存在を知らせましょう。

● クマの糞や足跡を見つけたら!

近くにクマがいる可能性があるのも、すみやかに引き返しましょう。

● 早朝や夕方に注意!

クマと出あう可能性が高いのは、早朝や夕方です。細心の注意を払いましょう。

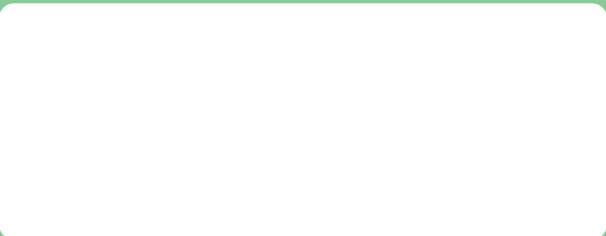
● クマを人里に近づけないために!

残飯や生ゴミはクマの餌となるので、野外に放置したり畑にまいたりしないようにしましょう。

柿や栗はクマの大好物です。利用しない果樹などは片付けましょう。

刈り払いなどで見通しを良くすることで、クマが隠れる場所を減らしましょう。

クマを目撃した場合や被害にあった場合などは、最寄りの市町村役場、県民局森林企画課・地域事務所地域森林課へご連絡ください。



もし、クマと出あったら

落ち着いて行動することが大切です。

! 遠くにクマを見つけたら…

静かにその場を離れましょう。



! クマがこちらに気付いたら…

落ち着いて静かにしていれば、ほとんどの場合、クマは立ち去ります。



! クマが近づいてきたら…

クマは逃げるものを追う習性があります。クマの動きに注意しながら、背中を見せないよう、ゆっくりと後退してください。大声や投石は、クマを刺激して大変危険です。

! 子グマを見かけたら…

子グマのそばには、必ず母グマがいます。近づくと大変危険ですので、静かにその場を離れましょう。



! 万一、クマに襲われたら…



地面に伏せて身を守る姿勢をとりましょう。中途半端な反撃はかえって危険です。

岡山県の
ツキノワグマ



岡山県のツキノワグマ

岡山県、兵庫県、鳥取県にわたり生息するツキノワグマの東中国地域個体群は、1991年に環境省のレッドデータブックに「絶滅のおそれのある地域個体群」として掲載されました。

岡山県では、2000年度から狩猟の禁止などによる保護の取組を進めた結果、生息数は回復しつつあります。

近年では、出没件数の高止まりや生息域の拡大などから、2022年度に「保護計画」から「管理計画」に方針を転換し、人とクマとのすみ分けを図るゾーニング管理による被害防止対策に取り組んでいます。

近年ツキノワグマの出没が確認された地域

(2024年3月末時点)



ツキノワグマの特徴

- 分布 ……本州・四国
- 体長 ……100～150cm
- 体重 ……30～130kg
- 視力 ……あまり良くない
- 聴力・嗅覚 ……非常に優れている
- 走る速度 ……時速40kmで走れる
- 得意な運動 ……木登り、水泳

ツキノワグマの生活

冬

出没が多い季節は？
特に、秋は冬眠に備えるためエサを求めて活発に行動することから出没が増加します。



12月頃から3月頃にかけて冬眠します。妊娠したメスは冬眠中に1～2頭の子供を生みます。

冬眠穴

行動範囲は？
メスに比べてオスの方が広く、特定のなわばりは持ちません。

秋



クマ棚



秋になると冬眠に備えて食欲が旺盛になり、ドングリなどの木の実はたくさん食べます。



豊かな自然の残る落葉広葉樹林が本来のクマのすみかです。

春



子グマは1歳半から2歳半になるまで母グマと一緒にいます。



スズノコ



アリ



サワガニ



キイチゴ



ハチミツ・昆虫



6月～7月頃が繁殖期です。

夏

食べ物は植物中心
好物は木の果実・果実や山菜などです。季節に応じて食べる物が変わり、夏は昆虫やサワガニも食べます。

気をつけよう！
山菜の多い場所にはクマもいることが多いので、音を出しながら歩くようにしましょう。